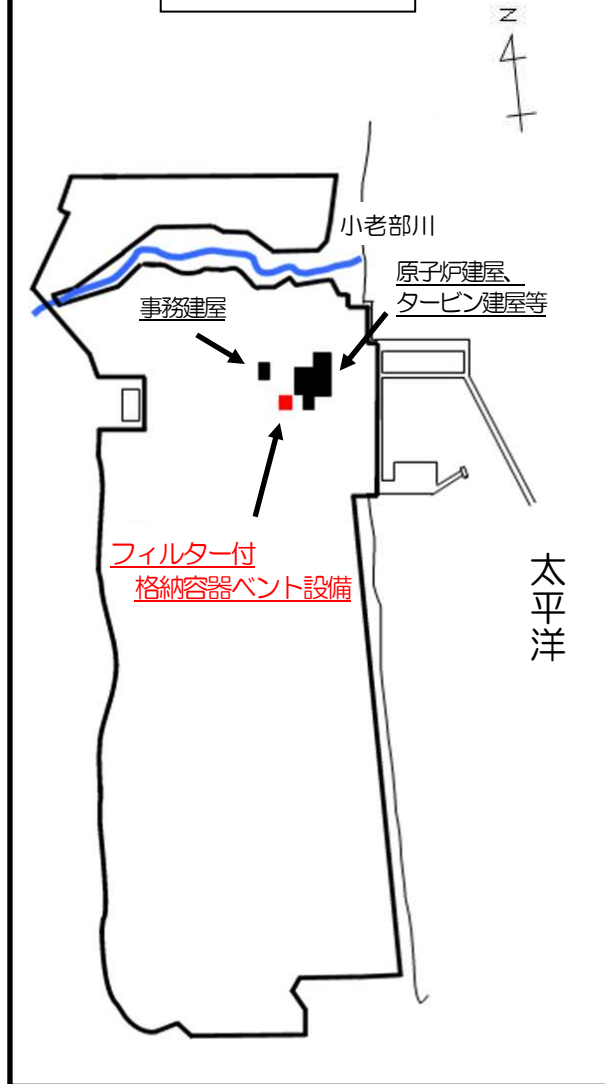


東通原子力発電所におけるフィルター付格納容器ベント設備の概要

【フィルター付格納容器ベント設備】

- 原子炉格納容器の過度な圧力上昇に伴う破損を防止するために、格納容器内の蒸気を大気中に放出して圧力を低減させる際、万一、炉心が損傷した場合においても、フィルターを介して放射性物質の放出量を大幅に抑制する設備。

設置予定図



<フィルター付格納容器ベント設備の仕様概要>

- 本体の概略寸法：直径約5m×高さ約12m（円筒形）
- 設置数：1基
- 設置場所：地下ピット
- 地下ピットの概略寸法：幅約12m×長さ約15m×高さ約24m
（地下ピットの埋設深さ約40m）
- 放射性物質の放出を直接放出時に比べ1/1000以下に抑制できる
（ウェットウェルベント※との組み合わせにより、さらに抑制）
- ※原子炉格納容器の蒸気を圧力抑制室の水を通過させ放射性物質を除去して放出するための設備
- 平成27年3月完成予定

<<断面イメージ図>>

